

# 沖縄をヒト・モノ・カネ・情報の 交易交流拠点「アジアゲートウェイ」へ

## 1. はじめに

政府は、長引くデフレ不況からの脱却に向けて、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の3本の矢で取組を進めているところですが、3本目の矢となる日本再興戦略（平成25年6月閣議決定）に基づく取組の効果を大企業や大都市のみならず、地域の中小企業等にも及ぼし、わが国全体としての経済再生を図っていくことが重要です。このため、同戦略においては、地域独自の創意を生かし、地域における産業競争力強化や地域経済再生等に地域が主体的に取り組むとともに、こうした取組を適時適切に国の政策決定プロセスに反映していくことを目的とし、国と地方が一体となった体制を構築すべく、「地方産業競争力協議会」を設置することとしています。

これを踏まえ、「九州・沖縄地方産業競争力協議会」が設置され、九州・沖縄地域において、重点化していくべき成長産業を明らかにし、その産業競争力を飛躍的に高めるための戦略を取りまとめています。

沖縄においては、経済情勢や地理的条件が特異であることから、同協議会の下に「沖縄分科会」（事務局…沖縄県沖縄総合事務局）を設置し、沖縄における重点戦略産業、その発展に向けた具体的取組、沖縄と九州との連携などについて取りまとめた「沖縄地域成長戦略」を策定しました。

以下に本戦略の概要を紹介します。

## 2. 沖縄成長産業戦略

### (1) 基本コンセプト

今後、日本経済の発展には、海外市場特に成長著しいアジア市場を取り込むことが必要です。

そのため、本戦略では、沖縄が日本と東アジアの架け橋となるゲートウェイとなり沖縄の発展につなげるとともに、日本と東アジアの相互の発展と変革に貢献することを目的とし、基本コンセプトを次のよう挙げています。

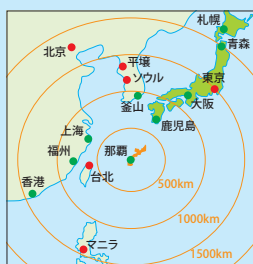
沖縄をヒト・モノ・カネ・情報の交易  
交流拠点「アジアゲートウェイ」へ

### (2) 沖縄のポテンシャル（沖縄力）

基本コンセプトを踏まえ、沖縄の持つポテンシャル（沖縄力）を次の3つとしています。

#### ①「地の利」…東アジアの中心

那覇を中心とする1,500Km圏内（飛行4時間以内）に東京、ソウル、香港、上海、台北、マニラ等の主要都市があり、巨大なアジア市場へのアクセスに地理的優位性があります。



#### ②「知の基盤」…人を呼び込み人を育てる研究教育機関

学際的・国際的な研究・教育を行う「沖縄科学技術大学院大学（OIST）」の開学、アジア最大の医療人材育成施設「おきなわクリニカルシミュレーションセンター」の設置等により、最先端の研究・教育環境が飛躍的に整いつつあります。

#### ③「地域資源」…亜熱帯性気候、島嶼が生み出した多様性

青い空と海、マングローブ林等の景観、県民のホスピタリティ、音楽、エイサー、組踊、壺屋焼等の伝統芸能・文化、クワアジューシー、イナムドゥチ、沖縄そば等の伝統食などに加え、ゴーヤー、長命草、青パパイヤ、ウコン、クワンソウ、ニガナ等の特徴ある島野菜や医薬品の原料となる海洋性微生物等、多種多様な「地域資源」が存在しています。

### (3) 重点戦略産業

沖縄のポテンシャルを最大限ビジネスに活かすため、次の3つを戦略産業として位置づけ、その実現に向けた取組を重点的に実施していくこととしています。

#### 戦略産業①…国際物流ハブ関連産業

沖縄の「地の利」を活かし、全国の物流産を沖縄に集め、アジアへの展開の拡充を目指します。

#### 【戦略的取組】

- ・ 沖縄大交易会を始めとする国際見本市・商談会の拡充及び差別化
- ・ 他地域との連携強化
- ・ 沖縄型臨空・臨港産業の集積

・物流拠点機能強化に向けたインフラの整備

## 戦略産業②…健康・バイオ・IT産業

沖縄の「知の基盤」を活かすとともに国内外の先進的な情報・技術を集積することで、情報・技術の交流拠点を目指します。

### 【戦略的取組】

- ・内外の先進的な研究者・企業の集積による知的基盤の強化
- ・ビッグデータの利活用
- ・島嶼型環境ビジネス・再生可能エネルギーの開発と海外展開

## 戦略産業③…地域資源活用産業

沖縄の多様な生物資源、観光資源等の「地域資源」を活かし、アジア市場を見据えた新産業の創出を目指します。

### 【戦略的取組】

- ・観光の高付加価値化
- ・沖縄産農林水産物・食品の供給力拡大と高付加価値化
- ・感性・文化産業の世界に向けての発信

## (4) 重点戦略産業を支える人材の育成

事業展開の先頭に立つリーダー、専門的なスキルを有し実務を支える専門人材、アジア地域で広域的にビジネスをつなぐコーディネーター人材等の高度人材の育成・確保が重要です。特に重点的かつ戦略的に実施すべきものとして以下が挙げられます。

- ・世界水準のグローバルビジネス人材の育成

・横断的な産業分野間の連携により新ビジネスを創造する人材の育成

・高度な技術スキルを有する人材の育成

・金型等の産業基盤技術

・航空機整備事業関連技術

・ビッグデータの分析・産業への展開を可能とする技術

・情報セキュリティ技術 等

今後、これら人材の育成に向け、大学、専門学校等の人材育成機関と産業界との連携を強化し、ひとつひとつ着実に積み重ねていくこととしています。

## 3. 九州・沖縄地方産業競争力協議会

3月24日(月)、大分市にて開催された第2回九州・沖縄地方産業競争力協議会において、本沖縄成長産業戦略を提出しました。

今後、本戦略の実現に向け、県内関係機関と連携して取り組むとともに、九州・沖縄が一体となり、食品のアジア展開、外国人観光客の誘客推進、医療機器等開発、グローバル人材の育成などを行うため、九州関係機関とも連携していく予定です。



## 沖縄成長産業戦略～アジアゲートウェイとして発展～

### 主旨

- 日本再興戦略及び全国知事会の緊急決議を踏まえ、九州・沖縄地域での成長戦略を検討するため、九州・沖縄地方産業競争力協議会が設置。
- 沖縄における成長戦略、沖縄と九州との連携方策を検討するため同協議会の下に沖縄分科会を設置。

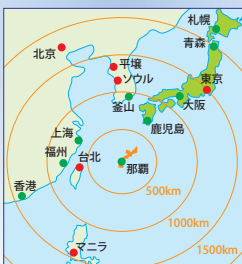
### 沖縄の現状

- 沖縄の地の利を活かしアジアの各都市と本土を結ぶ国際航空貨物ハブ事業が平成21年から開始。沖縄が新興国向けの産業立地の好適地。
- 世界最高レベルの研究教育機関(OIST)が開学。創業系ベンチャー企業やIT企業が進出・集積。
- 魅力的な地域資源(環境、農産物、文化芸能)が豊富。

## 基本コンセプト：沖縄をヒト・モノ・カネ・情報の交易・交流拠点「アジアゲートウェイ」へ

### 沖縄のポテンシャル「地の利」～東アジアの中心～

- 那覇から1,500キロ圏内(飛行機で4時間圏内)に東京、ソウル、香港、上海、台北、マニラ等の主要都市



### 国際物流ハブ関連産業

～全国の物産を沖縄に集約しアジアに展開～

- 沖縄大交易会をはじめとする国際見本市・商談会の拡充及び差別化
- 他地域との連携強化
- 沖縄型臨空・臨港産業の集積
- 物流拠点機能強化に向けたインフラの整備



### 健康・バイオ・IT産業

～沖縄を内外の先進的な情報・技術の交流拠点へ～

- 内外の先進的な研究者・企業の集積による知的基盤の強化
- ビッグデータの利活用
- 島嶼型環境ビジネス・再生可能エネルギーの開発と海外展開



### 地域資源活用産業

～沖縄の多様な生物資源、観光資源等を活用し、アジア市場も見据えた新産業を創出～

- 観光の高付加価値化
- 沖縄産農林水産物・食品の供給力拡大と高付加価値化
- 感性・文化産業の世界に向けての発信



### 沖縄のポテンシャル「知の基盤」

～人を呼び込み人を育てる研究教育機関～

- 沖縄科学技術大学院大学(OIST)
- 世界最高レベルの学際的・国際的研究・教育
- おきなわクリニカルシミュレーションセンター
- 最先端医療人材育成施設



### 沖縄のポテンシャル「地域資源」

～亜熱帯性気候、島嶼が生み出した多様性～

- 青い空と海、マングローブ林等の自然・景観
- 音楽、エイサー、組踊などの伝統芸能・文化
- 長命草、ウコン、クワンソウ、ニガナなどの特徴ある島野菜



## 重点戦略産業を支える人材の育成

◆世界水準のグローバルビジネス人材

◆横断的な産業分野間の連携により新ビジネスを創造する人材

◆高度な技術スキルを有する人材